



～上手な士幌町国保病院のかかり方（前編）～

土幌町国民健康保険病院
院長 藤原 大輔

こんにちは、士幌町国保病院の藤原です。夏はかなり暑かったですが、あっという間に寒くなってしまったね。

帯広市内を車で走っていると、顔見知りの患者さんが通っているクリニックをよく見かけます。「こんな遠くまで行っているんだ」と驚くこともしばしばです。もちろん特別な治療でしたら納得ですが、薬だけなら士幌でも十分対応できることが多いですよ。

そこで今回は、当院の宣伝にはなりますが（笑）、「上手な士幌町国保病院のかかり方」についてお話しします。

地域でできることを知っておいていただけすると、実際に役立つ場面も多いはずです。

整形外科（腰痛、骨粗鬆症など）

お薬は当院でも出せますし、骨密度を測る機械もちゃんとあります。

また、膝・腰・肩の痛みにはお薬・注射以外にリハビリも効果的です。10月からリハビリスタッフを二人体制に増員し、リハビリを受けていただきやすくなりました。

皮膚科

「遠いし混んでいるから行きにくい」という声もよく聞きます。

専門外来はありませんが、当院でも基本的な塗り薬や飲み薬は処方できます。

もし良くならなければ専門の先生につなぎます。

泌尿器科（頻尿・尿漏れなど）

第3週火曜日午後に帯広協会病院の先生が来てくれています。

また、普段は内科での処方もできます。

採血で（PSAを測り）前立腺がんのチェックもできますよ（結果は1週間くらいかかります）。

眼科

毎週木曜午前は北大病院から眼科医に来てもらっています。

糖尿病がある方は年に1回くらいは網膜症のチェックをしておきましょう。

夜間診療（9月からスタート）

第2・4木曜日（17:30～18:30受付）に実施しています。仕事・学校帰りにどうぞ。

今のところ検査は行わないのですが、ニーズが高ければ検討します。

糖尿病・高血圧はもちろん、CPAP（睡眠時無呼吸症候群の治療方法）、ワクチンの相談もできます。詳しくは病院ホームページを見てくださいね。

季節や事情に合わせた対応

「冬になって道が凍った間だけ当院で処方してほしい」、「薬の量が多いから減らしてほしい」、「いろんなところに行くのが大変だから士幌で全部出してほしい」

そんな使い方も全然OKです。

ここに書いたことは当院でできることのほんの一部です。少し宣伝っぽくなりましたが（笑）、気軽に病院を使っていただくことがみなさんの安心につながり、結果的に町の医療を守ることにもなります。

「それじゃ、士幌じゃできないことは何？」 「帯広・音更に行った方がいいのは？」
そのあたりは後編でお話ししますね。

インフルエンザ・新型コロナウイルス予防接種の予約受付中です。



町公式LINEまたはお電話 5-2106 にて受付しております。

◆ 詳細は役場だより9月30日号または国保病院ホームページをご覧ください。
(専門外来等の実施日も役場だよりやホームページで確認できます)